

平成 30 年度 事業報告

1. 古紙品質安定対策事業

古紙品質の維持向上を図るため以下の事業を実施した。

(1) 古紙品質調査事業（平成 24 年度から継続）

古紙品質の維持向上の基礎情報として活用するため、関東地区製紙メーカー（年間：段ボール 5 工場 10 ベール、新聞 4 工場 8 ベール、雑誌 10 工場 20 ベール）、中部地区製紙メーカー（年間：段ボール 3 工場 6 ベール、新聞 2 工場 4 ベール、雑誌 4 工場 8 ベール）、近畿地区製紙メーカー（年間：段ボール 3 工場 14 ベール、新聞 1 工場 4 ベール）において古紙の開梱組成調査を実施した。

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】

| | 段ボール | その他紙 (基準 3%以下) | 禁忌品(A+B) (基準 0.3%以下) |
|-----------|--------|-------------------|-------------------------|
| 平成 30 年度 | 97.9 % | 2.0 % | 0.1 % |
| 過去 7 年*平均 | 96.1 % | 3.0 % | 1.0 % ^注 |

注) 過去 7 年平均の禁忌品は、平成 24 年度、平成 25 年度の一部ベールで禁忌品混入の多いものがあつたため高くなっており、当該 2 年を除く 5 年平均でみると 0.2%である。

【新聞】

| | 新聞 | チラシ | その他紙 (基準 1%以下) | 禁忌品(A+B) (基準 0.3%以下) |
|-----------|--------|--------|-------------------|-------------------------|
| 平成 30 年度 | 61.9 % | 35.5 % | 2.3 % | 0.3 % |
| 過去 7 年*平均 | 61.7 % | 35.7 % | 2.3 % | 0.3 % |

【雑誌】

| | 雑誌 | その他紙 (基準 5%以下) | 禁忌品(A+B) (基準 0.5%以下) |
|-----------|--------|-------------------|-------------------------|
| 平成 30 年度 | 60.3 % | 39.2 % | 0.5 % |
| 過去 7 年*平均 | 63.6 % | 35.3 % | 1.0 % ^注 |

注) 過去 7 年平均の禁忌品は、平成 24 年度の一部ベールで禁忌品混入の多いものがあつたため高くなっており、当該 1 年を除く 6 年平均でみると 0.6%である。

※ 過去 7 年：平成 24 年度から平成 30 年度。

(2) 古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質情報ネットワークを各地区委員会に拡大し、古紙品質情報については新たに全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載した。

各地区委員会における古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

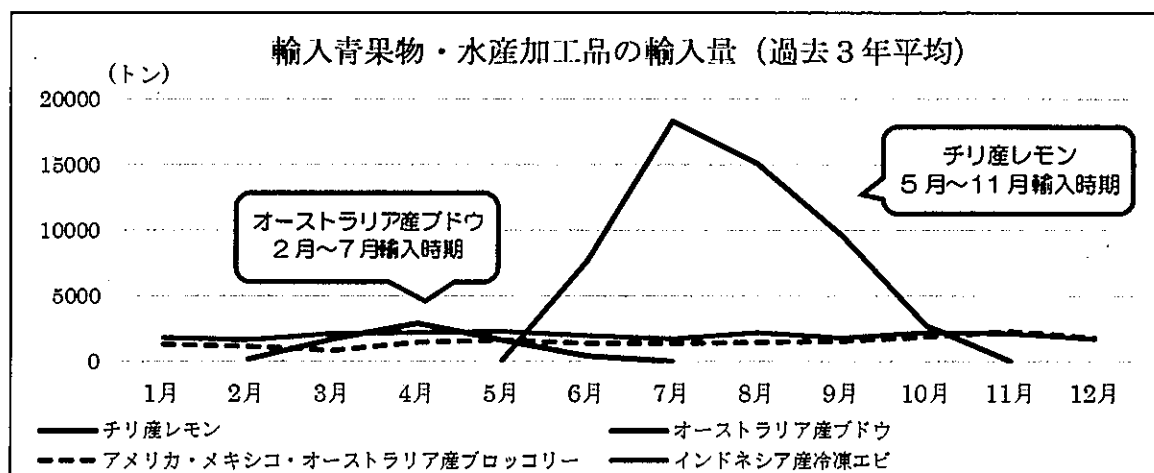
() は昨年度件数

| | 感熱性 発泡紙 | 臭いの ついた紙 | 昇華 転写紙 | ロウ段 | その他 | 計 |
|---------|------------|-------------|-----------|-------|-------|---------|
| 関東地区委員会 | 9 (11) | 1 (0) | 4 (12) | 0 (4) | 5 (1) | 19 (28) |
| 中部地区委員会 | 1 | | | | | 1 |
| 近畿地区委員会 | | | | 2 | 2 | 4 |
| 合計 | 10 | 1 | 4 | 2 | 7 | 24 |

(3) 個別古紙品質対策

重大なトラブルに至らないものの各地区委員会で通年を通して青果物の輸入に伴うロウ引き段ボール等が段ボール古紙に混入していることが報告されることから、集荷業者及び排出事業者を対象とした「ロウ引き段ボール混入防止リーフレット」を作成し、製紙会社及び古紙問屋から集荷業者、排出事業者等に配布し、ロウ引き段ボールの発生のタイミング及び分別、混入防止を周知した。

【 ロウ引き段ボールの発生のタイミング 】



2. 広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、未利用古紙の掘り起こし、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底等に関する事業を実施した。中でも重点事業として、地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施やリニューアルしたホームページを活用した情報の発信に取り組んだ。また、集団回収実施団体への感謝状の贈呈等により紙リサイクルの普及促進に努めた。

(1) 紙リサイクル啓発事業

1) 紙リサイクル意見交換会

地方自治体との連携強化を目的に、紙リサイクルの現状と課題等に関する意見交換会を実施した。

また、関東地区では意見交換会の実施に向け継続して自治体と打合せを行っている。

| 開催日 | 地方自治体 | 業界関係者 |
|-----------|-------------------|------------------|
| 7月30日(月) | 愛知県内各市の廃棄物処理の担当職員 | 中部地区の製紙メーカー、古紙問屋 |
| 11月19日(月) | 大阪市廃棄物処理の担当職員 | 近畿地区の古紙問屋 |

2) 紙リサイクル出前授業

主に小学生高学年を対象に紙リサイクルへの理解を深め、紙リサイクル体制の維持・発展に資するため、センターで作成した紙リサイクル教材を活用し、全国各地で下表のとおり実施した。実施校数は55校(前年度比10校増)、参加者は3,590名(前年度比936名増)に上った。

また、テキスト改訂に伴い各地で講師研修会を実施し、講師育成に努めた。

| 地区 | 実施日 | 対象学校・学年 | 参加者数 |
|-------|-------------|-----------------|--------------|
| 北海道 | 平成30年11月13日 | 札幌市立明園小学校5年生 | 66名 |
| 東北 | 平成30年9月11日 | 石巻市立釜小学校4年生 | 72名 |
| | 9月25日 | 南相馬市立大甕小学校4年生 | 18名 |
| | 10月2日 | 南相馬市立太田小学校4年生 | 9名 |
| | 10月4日 | 石巻市立稲井小学校4年生 | 60名 |
| | 10月23日 | 石巻市立開北小学校4年生 | 58名 |
| | 11月1日 | 石巻市立石巻小学校4年生 | 56名 |
| 関東 | 平成30年5月14日 | 朝霞市立朝霞第四小学校4年生 | 120名 |
| | 7月10日 | 逗子市立池子小学校4年生 | 50名 |
| | 8月23日 | 狛江市立緑野小学校3~6年生 | 12名 |
| | 9月27日 | 横浜市立新吉田第二小学校4年生 | 87名 |
| 静岡 | 平成30年6月28日 | 富士市立大淵第二小学校4年生 | 2名 |
| | 6月29日 | 富士市立青葉台小学校4年生 | 77名 |
| | 7月3日 | 富士市立吉永第一小学校4年生 | 53名 |
| | 7月9日 | 富士宮市立貴船小学校5年生 | 87名 |
| | 7月11日 | 富士市立丘小学校4年生 | 147名 |
| | 7月20日 | 富士市立須津小学校4年生 | 118名 |
| | 9月6日 | 富士市立伝法小学校4年生 | 126名 |
| | 9月11日 | 富士市立富士川第二小学校4年生 | 61名 |
| | 11月1日 | 沼津市立浮島小学校4年生 | 31名 |
| | 11月2日 | 富士市立岩松北小学校4年生 | 130名 |
| | 11月21日 | 富士市立今泉小学校4年生 | 111名 |
| | 11月27日 | 富士市立東小学校4年生 | 14名 |
| | 12月13日 | 富士市立吉永第二小学校4年生 | 33名 |
| | 中部 | 平成30年5月30日 | 桑名市立桑部小学校4年生 |
| 6月1日 | | 名古屋市立伝馬小学校4年生 | 47名 |
| 6月5日 | | 名古屋市立甘軒家小学校4年生 | 120名 |
| 6月5日 | | 名古屋市立金城小学校4年生 | 66名 |
| 6月7日 | | 名古屋市立弥富小学校4年生 | 121名 |
| 6月8日 | | 名古屋市立豊治小学校4年生 | 90名 |
| 6月14日 | | 名古屋市立港西小学校3年生 | 76名 |
| 6月19日 | | 名古屋市立大野木小学校4年生 | 89名 |
| 6月20日 | | 名古屋市立米野小学校4年生 | 40名 |
| 6月21日 | | 名古屋市立光城小学校4年生 | 83名 |
| 6月27日 | | 名古屋市立城北小学校4年生 | 90名 |
| 7月10日 | | 名古屋市立呼続小学校4年生 | 50名 |
| 7月11日 | | 名古屋市立内山小学校4年生 | 16名 |
| 7月13日 | | 名古屋市立藤が丘小学校4年生 | 49名 |
| 9月14日 | | 東郷町立高嶺小学校4年生 | 98名 |
| 9月18日 | | 名古屋市立平針南小学校4年生 | 57名 |

| 地区 | 実施日 | 対象学校・学年 | 参加者数 |
|-------------------------------------|------------|----------------------------------|------|
| 中部 | 平成30年9月19日 | 名古屋市立日比津小学校4年生 | 61名 |
| | 9月25日 | 東郷町立音貝小学校4年生 | 78名 |
| | 9月25日 | 岐阜市立厚見中学校1年生 | 38名 |
| | 10月11日 | 名古屋市立大清水小学校4年生 | 163名 |
| | 11月1日 | 四日市市立桜台小学校4年生 | 41名 |
| | 11月8日 | 鈴鹿市立飯野小学校4年生 | 106名 |
| | 11月10日 | 岐阜市立七郷小学校4年生 | 112名 |
| | 11月20日 | 桑名市立多度青葉小学校4年生 | 9名 |
| 近畿 | 平成30年7月9日 | 播磨高原東小学校(たつの市)4年生 | 18名 |
| | 9月28日 | たつの市立揖保小学校4年生 | 31名 |
| 中・四国 | 平成30年7月11日 | 高松市立高松第一小学校6年生 高松市立高松第一中学校1年生 | 36名 |
| | 10月11日 | 下松市立豊井小学校5年生 | 12名 |
| 九州 | 平成30年8月24日 | 江北町立江北小学校4年生 | 97名 |
| | 10月5日 | 長与町立長与北小学校4年生 | 58名 |
| 実施校数:55校・参加者数:3,590名(昨年度45校・2,650名) | | | |

※ センター以外に古紙問屋・組合が実施した出前事業数：90校

3) 地域広報活動

各地区委員会で紙リサイクル啓発活動を下表のとおり実施した。

| 地区 | 開催日 | 開催地 | 行事名 | 内容 |
|-----|------------------------|-------------|-------------------------|---|
| 北海道 | 平成30年 9月16日 | 北海道 旭川市 | リサイクル ペーパーフェア | 古紙の分別、禁忌品除去、古紙 利用促進のPR、工作体験、啓発 資料・ノベルティ配布等 |
| 東北 | 平成30年 9月2日 | 宮城県 仙台市 | エコフェスタ 2018 出展 | 古紙の分別体験クイズ、紙すき体 験、啓発資料・ノベルティ配布等 |
| 静岡 | 平成30年 8月3日 | 静岡県 富士市 | 静岡県工業技術 研究所 フェア参加 | 古紙分別回収・禁忌品混入防止 の呼びかけ、雑がみ回収用袋・紙 リサイクルノートの配布等 |
| 中部 | 平成30年 8月25日 ～26日 | 石川県 金沢市 | いしかわ環境 フェア2018 出展 | 紙リサイクルに関するパネル展 示、古紙利用製品の展示、紙ひも サンプル、ノベルティの配布等 |
| | 9月15日 | 愛知県 名古屋市 | 環境デーなごや 2018 出展 | 古紙分別のパネル展示、雑がみ・ 紙製容器包装に関するクイズ、ア ンケート用紙の配布等 |
| | 9月30日 | 長野県 長野市 | ながの環境フェ ア出展 | 古紙回収・利用促進のPR、ノベ ルティの配布 |
| | 10月21日 | 石川県 金沢市 | かなざわ エコフェスタ | 古紙回収・利用促進PR |
| | 11月23日 | 山梨県 甲府市 | 甲府市環境 フェア出展 | 紙リサイクルに関するパネル展 示、古紙分別に関するクイズの実 施 |
| | 平成31年 2月16日 | 愛知県 名古屋市 | ゴミ非常事態宣言20 周年記念イベント | 雑がみ分別回収促進のための説 明 |
| 近畿 | 平成30年 10月21日 | 奈良県 奈良市 | 平成30年度なら クリーンフェスタ | 古紙分別・古紙利用促進のパネル展 示、紙すき体験、啓発資料の配布等 |

| 地区 | 開催日 | 開催地 | 行事名 | 内容 |
|------|---|-------------|------------------|--|
| 中・四国 | 平成30年 6月2日 | 山口県 岩国市 | 岩国環境 フェスタ2018 | 啓発資料の配布等、紙すき体験、 古紙利用促進のパネル等展示 |
| 九州 | 平成30年 11月27日 平成31年 1月16日 1月18日 1月23日 | 福岡県 北九州市 | 古紙リサイクル バスツアー | 北九州市内の小学校4校の小学生 高学年児童を対象に古紙の回収・ 流通・再生の現場の見学会、 紙すき体験 |

4) 紙リサイクル研修会

家庭又は事業所から排出される紙のリサイクルを促進させるため、地方自治体職員や集団回収団体代表者、事業者等を対象に下表のとおり実施した。実施回数は18回、参加者は1,687名であった。

| 開催日 | 開催地 | 対象者 | 参加者数 | 申込団体等 |
|-------------------------------------|-------------|-------------------------------------|--------------|------------------------|
| 平成30年 5月25日 5月26日 | 埼玉県 所沢市 | 集団資源回収実施団体 | 123名 115名 | 所沢市環境クリーン 部資源循環推進課 |
| 7月27日 | 高知県 高知市 | 高知クリーン推進会会員事業 所、高知商工会議所会員事 業所 | 23名 | 高知クリーン推進会 |
| 9月10日 | 千葉県 千葉市 | 千葉県内市町村、関係一部 事務組合の一般廃棄物担当 者 | 97名 | 千葉県環境生活部 循環型社会推進課 |
| 10月5日 | 奈良県 奈良市 | 減量計画書等提出建物占有 者 | 64名 | 奈良市環境部 廃棄物対策課 |
| 11月1日 | 千葉県 八千代市 | 八千代市廃棄物減量等推進 員 | 53名 | 八千代市安全環境部 クリーン推進課 |
| 11月8日 | 群馬県 前橋市 | 県内市町村の一般廃棄物の 実務担当者 | 40名 | 群馬県環境森林部 廃棄物・リサイクル課 |
| 11月13日 | 大阪府 吹田市 | 吹田市内の事業者 | 42名 | 吹田市環境部 環境政策室 |
| 11月13日 11月14日 | 新潟県 新潟市 | クリーンにいがた推進員 | 94名 92名 | 新潟市環境部 廃棄物対策課 |
| 11月21日 | 福岡県 北九州市 | 事業用大規模建築物及び大 量排出事業所 | 380名 | 北九州市環境局 循環社会推進部 |
| 11月22日 | 東京都 港区 | 港区内事業者の廃棄物管理 責任者等 | 150名 | みなとりサイクル 清掃事務所 |
| 11月22日 | 石川県 金沢市 | 石川県再生資源事業協同組 合、金沢市、等 | 12名 | 石川県再生資源事業 協同組合 |
| 11月30日 | 新潟県 新発田市 | 新発田市廃棄物減量等推進 員 | 120名 | 新発田市環境衛生課 |
| 平成31年 2月5日 | 東京都 港区 | 港区集団回収実施団体代表 者 | 42名 | みなとりサイクル 清掃事務所 |
| 2月13日 | 佐賀県 佐賀市 | 事業者(多量排出事業者な ど) | 100名 | 佐賀市環境部 循環型社会推進課 |
| 2月22日 | 栃木県 宇都宮市 | 県内市町及び一部事務組合 廃棄物行政担当職員 | 40名 | 栃木県環境森林部 廃棄物対策課 |
| 2月24日 | 東京都 青梅市 | 環境美化委員、一般市民 | 100名 | 青梅市環境部 清掃リサイクル課 |
| 実施回数:18回・参加者数:1,687名(昨年度13回・1,635名) | | | | |

5) 紙リサイクルセミナー

紙リサイクルの維持・向上に向け、時宜を得たテーマを選定し、以下のとおり開催した。

日 時 : 平成 30 年 10 月 29 日 13 時 30 分 ~ 16 時 00 分

会 場 : 星陵会館 参加者数 : 234 名

講 演 : ① 「古紙持ち去り行為撲滅に向けて～これまでの取組と課題～」

関東製紙原料直納商工組合 理事長 大久保 信隆 氏

② 「通信販売の現状～JADMA 調査結果を中心に～」

公益社団法人日本通信販売協会 理事 事務局長 三浦 千宗 氏

③ 「紙リサイクル維持に向けた課題と対応」

～国内の紙・板紙需要構造の変化及び中国の古紙輸入規制の影響～

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部 技術担当部長 甲斐 和生

6) 啓発資料等の配布

ア 会 報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報(年 4 回、1,060 部/回)として発行した。

イ 古紙ハンドブック

令和元年度発行予定『古紙ハンドブック 2019』の掲載データを作成した。なお、欧州諸国の資源(古紙)回収システム及び個人情報法など情報を更新した。

ウ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ、下表のとおり提供や貸出しを行った。新たに「ロウ引き段ボール混入防止リーフレット」を作成し、積極的に提供した。

| 内 訳 | 件 数 |
|------------------|-------|
| チラシ、パンフレットの提供 | 222 件 |
| DVDの提供 | 4 件 |
| 啓発用パネル(6 枚組)の貸出し | 2 件 |

7) 紙リサイクルコンテスト

平成 30 年度で 10 回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2018」を実施し、全国の小中学生を対象に「紙リサイクル」をテーマとした作文とポスターの作品募集を行い、平成 29 年度応募点数 973 点を大幅に上回る過去最高の 2,609 点の応募があった。全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、金賞・特別金賞・銀賞・佳作の各賞を決定し、金賞並びに特別金賞受賞者を招いて表彰式を以下のとおり開催した。

日 時 : 平成 30 年 12 月 1 日 12 時～14 時

会 場 : ホテルグランドパレス 3 階「白樺の間」

後 援 : 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

<金賞>

| 部 門 | | 学校名・学年 | 氏 名 | 作 品 名 |
|------------------|--------------|-----------------------|-------|---------------------|
| 作 文 | 小学生部門 | 兵庫県宝塚市立 宝塚小学校 3年 | 武田 奈々 | 「もったいない！」を なくしたい |
| | 中学生部門 | 滋賀県東近江市立 五個荘中学校 2年 | 足立 堅 | 資源回収を存続するために |
| ポ ス タ ー | 小学生 低学年部門 | 神奈川県 その絵の会 2年 | 金木 来人 | リサイクルの4つのおきて |
| | 小学生 高学年部門 | 山口県岩国市立 灘小学校 4年 | 尾賀 穂花 | すてずにリサイクル |
| | 中学生部門 | 大阪府豊中市立 第九中学校 3年 | 谷 承子 | ウマレカワル カミリサイクル |

<特別金賞>

| 部 門 | | 学校名・学年 | 氏 名 | 作 品 名 |
|-------------------------|--|-----------------------|--------|-------------------------|
| 全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞 | | 兵庫県西宮市立 南甲子園小学校 1年 | 大 恵 朱実 | おとうさんも リサイクルできたよ(作文) |
| 日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞 | | 神奈川県三浦市立 初声中学校 2年 | 福 留 一航 | 世界の未来を明るく(作文) |
| 段ボールリサイクル 協議会 会長賞 | | 山口県岩国市立 灘小学校 4年 | 村 中 惺 | ひろげよう リサイクルのわ(ポスター) |

<銀賞>

| 部 門 | | 学校名・学年 | 氏 名 | 作 品 名 |
|------------------|--------------|------------------------|--------|--------------------------|
| 作 文 | 小学生部門 | 茨城県土浦市立 東小学校 5年 | 藤田 明日香 | リサイクルで資源を守ろう! |
| | 中学生部門 | 宮城県利府町立 利府西中学校 3年 | 松 浦 元音 | どうすればリサイクルに 協力してもらうか? |
| ポ ス タ ー | 小学生 低学年部門 | 東京都荒川区立 第三日暮里小学校 3年 | 梅 田 莉歩 | リサイクルランド |
| | 小学生 高学年部門 | 福岡県古賀市立 古賀東小学校 4年 | 中 村 伊吹 | リサイクルしたら 幸せがもどってくるよ |
| | 中学生部門 | 愛知県刈谷市立 依佐美中学校 2年 | 林 柑 太 | まって!それもリサイクル |

<佳作>

| 部 門 | | 学校名・学年 | 氏 名 | 作 品 名 |
|---------------------|--------------|-----------------------|----------|--------------|
| 作 文 | 小学生部門 | 千葉県富里市立 富里南小学校 5年 | 吉 河 佳鈴 | 我が家の紙リサイクル |
| | | 東京都 東京創価小学校 5年 | 和 田 向日葵 | 紙のリサイクル |
| | 中学生部門 | 佐賀県 弘学館中学校・高等学校 3年 | 岩 永 有加 | 身近なリサイクル |
| ポ ス タ ー | 小学生 低学年部門 | 東京都 アトリエn 3年 | 菊 地 咲伍 | 紙づくり |
| | | 兵庫県 絵画教室絵かきのたまご 2年 | 稲 垣 新汰 | 紙を大切に |
| | 小学生 高学年部門 | 北海道釧路市立 大楽毛小学校 5年 | 尾 屋 真菜佳 | リサイクルの輪をつくろう |
| | | 愛知県名古屋市長 大野木小学校 4年 | 由 利 音果 | 紙は資源 |
| | 中学生部門 | 山口県岩国市立 灘中学校 2年 | 川 野 茉音 | リサイクリング |
| 福岡県福岡市立 片江中学校 1年 | | 松 永 紳作 | 捨てる紙と救う紙 | |

8) 未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

家庭、事業所、自治体、教育関係者のセンターホームページの閲覧を増やし、紙リサイクルへの理解を得ることを目的にリニューアルを行い、平成30年8月に公開した。

リニューアルでは、①モバイル端末での閲覧に対応、②求める情報にアクセスしやすいよう家庭、事業者、教育関係者、自治体職員、会員及びリサイクル事業者など項目毎に分類、③検索しやすいよう「グローバルナビ」、「よくある質問」などを新設、④新たなコンテンツとして「紙リサイクル〇×クイズ」、「公式ソング『かみの「か」を「ご」にかえないで!』」、「古紙分別チェック」、「数字でみる古紙再生」を新設した。

(2) 紙リサイクル普及事業

1) 顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体(65団体)に感謝状を贈呈した。昭和62年開始から累計で894団体となった。

| 推薦地区 | 団 体 名 |
|------|---|
| 北海道 | 山の手第7町内会(婦人部)、双葉町町内会、神楽岡5区北町内会、金堀小学校資源回収部、鳥取北町内会 |
| 東北 | 高崎町会、將軍野向山町内会、上堂子ども会育成会、山形市立出羽小学校PTA、西中田第一地区(A・B)子供会、長町西町1地区5班子子供会、笹谷団地町会、金山町立小学校 父母と教師の会 |
| 関東 | 栃木市立皆川城東小学校PTA、並榎こども会さつき支部、熊谷市立玉井小学校PTA、中条小学校PTA・中条中学校PTA、平和台自治会、塚田地区連合自治会、足立高砂町会青少年部、伊興中央町会、大川町東町会、大宮一丁目自治会、下堀自治会、秦野市立上小学校PTA・上幼稚園PTA、大東町自治会 |
| 新潟 | 寺尾福寿会、中嘉山団地自治会、鏡第二自治会、天神尾二丁目自治会、長岡市立表町小学校、加茂市立須田小学校育友会、女池東第一自治会 |
| 静岡 | 富士市鍛冶町子ども会、富士市立吉原北中学校PTA |
| 中部 | 大塚子ども会、伊勝学区、県営桜島団地第一自治会、北校区合同資源回収、坂井市立春江西小学校PTA、金石町小学校育友会、柳町校下自治振興会、甲州市立東雲小学校PTA |
| 近畿 | たつの市立龍野西中学校PTA、たつの市立御津小学校PTA、姫路市立高浜小学校PTA、北細江子供会、西出町町内会、飯岡子供会 |
| 中・四国 | 小海婦人会、四国中央市立南小学校、古町自治会、高松屋島ライオンズクラブ、ベルタウン子ども会、本庄ヒッターズ、別宮ごみ減量推進会、宇和島市立吉田中学校 |
| 九州 | 桜坂地区子ども会、矢上団地自治会連絡協議会、神埼西小津ヶ里自治会、麻生田校区第五町内自治会、神埼市立春振小学校、汐美台子供会、鳴滝町西部自治会、希望ヶ丘町内会 |

イ 集団回収特別活動賞表彰

紙リサイクルへの貢献とともに活動の目的及びその内容が素晴らしい女池東第一自治会(新潟県)、麻生田校区第五町内自治会(熊本県)の2団体に対して、平成30年12月1日紙リサイクルコンテスト2018表彰式に併せて集団回収特別活動賞を贈呈した。

2) グリーンマーク

平成 30 年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

| 【表示承認】 | 平成 30 年度 | 累計 |
|--------|------------------------|---------|
| 事業者数 | 9 事業者 (新規承認事業者 2 件) | 179 事業者 |
| 件数 | 28 件 | 686 件 |

| 【表示内容変更】 | 平成 30 年度 |
|----------|----------|
| 事業者数 | 3 事業者 |
| 件数 | 7 件 |

3. 調査研究事業

国内では未利用古紙の掘り起こし・品質確保の観点から、地方自治体における古紙関連施策の調査、オフィス古紙回収モデル事業、リサイクル対応型機密文書処理ガイドラインの改訂事業を実施した。

海外では古紙輸入地域である中国をはじめとする東南アジア諸国や古紙輸出国である欧州の状況変化の実態を調査し、我が国の紙リサイクルへの影響の把握に努めた。

(1) 国内資源化調査

1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

業種別に見ると他の業種より紙リサイクル率が低い金融機関に注目し、金融機関における紙リサイクル実態を把握し、金融機関向けのオフィス古紙の回収促進のための冊子を作成した。

2) 地方自治体古紙関連施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策に関するアンケート調査 1,741 自治体対象に行うと共に、関東地区の 10 自治体にヒアリング調査を実施した。また、平成 20 年度から 30 年度の調査結果の経年比較を行った。アンケート、ヒアリング及び経年比較の内容を報告書に取りまとめ、製紙・古紙業界関係者、地方自治体に配付した。

3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

ドライトナー印刷物のリサイクル適性評価標準試験法(平成 26 年日本印刷産業連合会制定)の改訂案をまとめた。一方で、インクジェット印刷物のリサイクル適正評価試験法の検討は、リサイクル適正のあるインクジェット印刷の開発が進んでいないことから、開発状況の確認に留めた。

4) オフィス古紙回収モデル事業

少量排出事業所対象に可燃ごみとして排出されているオフィス古紙を掘り起こし、製紙原料として利用するモデルの構築を目的として、新潟市新津商工会議所の協力の下、平成 30 年 4 月より同市秋葉区にてオフィス古紙回収モデル事業を開始した。同モデル事業は令和元年度も継続する。

5) リサイクル対応型機密文書処理ガイドラインの改訂事業

令和元年度の改訂に向け、機密文書処理に関係する国内外の法規制などを調べた。

6) 国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

ア 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会

- イ 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」
- ウ ISO/TC130WG11「ISO 印刷技術」国内委員会脱墨分科会
- エ 包装技術委員会/ISO1860 委員会
- オ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

(2) 海外市場調査

1) 中国古紙市場調査

平成 23 年度以来、日本、中国両国の古紙、製紙関係者が相互理解を促進し、連携を深め、両国の紙リサイクルの維持・発展に寄与する日中古紙セミナーを毎年、交互に開催している。今回は中国の古紙輸入政策変更を主たるテーマとし、平成 30 年 11 月 20 日に東京にて第 7 回日中古紙セミナーを開催し、367 名(国内参加者 280 名、中国側参加者 87 名)が参加した。また、セミナー開催に伴い、中国からの来日参加者を対象に古紙ヤードやリサイクル関連施設の見学会を行った。

第 7 回 日中古紙セミナー

日 時 : 平成 30 年 11 月 20 日 13 時 00 分 ~ 16 時 30 分

会 場 : 星陵会館

参加者数 : 367 名(国内参加者 280 名、訪日参加者 87 名)

講 演 : ① 「2017 年中国古紙業界発展の現状と傾向分析」

中国再生資源回収利用協会古紙分会会長 吳 涛 氏

② 「中国製紙産業の新たな局面、新たな機会、新たな課題」

中国造紙協会副理事長、江蘇省造紙行業協会会長、

江蘇省紙聯再生資源有限公司董事長 牛 庆民 氏

③ 「古紙輸入ゼロ? 中国製紙業界の課題と対応」

RISI-UMPaper 助理總監 冯 艳 氏

④ 「日本における古紙品質向上の取組と課題」

関東製紙原料直納商工組合経営革新委員会委員長 新井 重樹 氏

(株式会社新井商店 代表取締役副社長)

2) 調査ミッションの派遣

eコマースの進展や中国の古紙輸入政策変更等による世界的な古紙需給構造変化のなか、昨年の米国調査に続き、欧州の古紙市場の変化など実態を把握するため、ベルギー、イギリス、ドイツを訪問調査するとともに、欧州の紙リサイクル関係機関との情報交換を実施した。

メンバー : 日本製紙株式会社 原材料本部 古紙調達部長 和田 健太郎

三弘紙業株式会社 代表取締役 上田 晴健

公益財団法人古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章

面談先 : 12 月 12 日 Confederation of European Paper Industries

(CEPI/欧州製紙産業連合)

The European Recycling Industries Confederation

(EuRIC/欧州リサイクル協会)

12 月 13 日 Confederation of Paper Industries, UK (CPI/英国製紙協会)

The Recycling Association Limited, UK (英国リサイクル協会)

| | |
|--------|---|
| | DS Smith (英国の製紙会社) |
| | CS Recycling (英国の古紙会社) |
| 12月14日 | Bureau of International Recycling (BIR/国際リサイクル連合) |
| 12月17日 | German Pulp and Paper Association (VDP/ドイツ製紙連合会) |
| | Mayr-Melnhof Karton (ドイツの製紙会社) |
| | Smurfit-kappa (アイルランドの製紙会社) |

(3) 統計調査

1) 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2) 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計(生産・出荷・在庫統計、原材料統計)、財務省貿易統計(古紙、紙類、パルプ)等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙・板紙の生産量、紙・板紙生産のために要した繊維原料(古紙、パルプ等)などについて調査・集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

- ア 年間古紙需給統計
- イ 古紙需給推移(品種別)
- ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
- エ 古紙回収率推移
- オ 古紙利用率推移
- カ 古紙品種別輸出先別輸出実績
- キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
- ク 中国の古紙輸入量(地域別・品種別)
- ケ 古紙消費原単位

3) 海外統計

中国造紙協会、韓国製紙連合会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページや会報に掲載した。

4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

国際化の進展が加速するなか、国内のみならず海外の古紙事情により我が国の紙リサイクルシステムへ悪影響が及ばないよう対策を講じるとともに、アジア全体の古紙回収率向上に向けて、関係国の紙リサイクルの実態把握及び働きかけを実施した。

(1) 古紙余剰対策事業

古紙余剰対策事業については、国内の紙リサイクルシステムの維持・安定に資するものとして実施している事業であるが、平成30年度は古紙余剰等の緊急事態に至らなかったため、本事業は実施していない。

(2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1) 海外における紙リサイクルの現状と紙リサイクル安定化施策等の調査

古紙の需要が増加している東南アジアの古紙回収状況及び中国の古紙輸入政策変更によ

る影響等について情報収集並びに古紙回収率向上の働きかけに向け、タイ、ベトナム、マレーシアを訪問調査した。

【タイ・ベトナム】

メンバー： 日本製紙連合会 総務広報部国際担当部長 原口 直人
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課主査 濱野 彰吾

面談先： 6月25日 ・タイ製紙連合会(TPIIA)
・SCG パッケージング
6月26日 ・タイ天然資源・環境省(MONRE)
6月27日 ・タイ包装環境研究所(TIPMSE)
6月28日 ・ビナクラフトペーパー
6月29日 ・ベトナム製紙連合会(VPPA)
・ベトナム天然資源・環境省
・ベトナム産業・貿易省

【マレーシア】

メンバー： 日本製紙連合会 総務広報部調査役 木村 茂明
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部国際担当部長 金谷 信章
公益財団法人古紙再生促進センター 業務部業務課主査 濱野 彰吾

面談先： 7月30日 ・マレーシア製紙連合会(MPPMA)
・MUDA ホールディングス
・DRB-HICOM Environmental Services 社
(Alam Flora(廃棄物回収業者)子会社)
7月31日 ・GS ペーパー&パッケージ
・New Foo Sun(古紙業者)
8月1日 ・マレーシア投資開発庁

2) 製紙原料以外の古紙用途に関する調査

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3) 日本のリサイクルシステムへの影響把握、対策に関する調査

平成 29 年度からの継続事業で、新聞古紙不足対策として日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会と共同で、輸入 ONP と国内新聞のブレンド (2:8) 品の利用を検討した。輸入 ONP 再選別の上、国内品とのブレンド使用は、輸入 ONP の禁忌品混入が高く、ガラス片や臭気の問題もあり、紙向けに利用出来るのは限定的であった。加えてコスト、選別の手間ひま等を考えると利用は不可との結論に至った。

5. その他の事業

各地区委員会において、古紙に関する情報交換、研修会等の活動を実施した。

以 上

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 6 月

公益財団法人古紙再生促進センター